

平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ニチリヨク
 コード番号 7578 URL <http://www.nichiryoku.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺村 久義

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役兼専務執行役員 (氏名) 矢田 欣也

四半期報告書提出予定日 平成27年8月10日

TEL 03-3396-3052

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	793	12.7	△15	—	△33	—	△30	—
27年3月期第1四半期	704	△22.6	△51	—	△66	—	△46	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	△2.41	—
27年3月期第1四半期	△3.69	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	11,467	3,619	31.6	289.60
27年3月期	11,704	3,738	31.9	299.17

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 3,619百万円 27年3月期 3,738百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	7.50	7.50
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	7.50	7.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,600	7.4	0	—	△60	—	△50	—	—
通期	3,750	10.1	240	9.5	110	16.8	55	62.5	4.40

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	13,741,014 株	27年3月期	13,741,014 株
28年3月期1Q	1,243,834 株	27年3月期	1,243,834 株
28年3月期1Q	12,497,180 株	27年3月期1Q	12,498,430 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、日経平均株価が2万円台に回復する等金融経済は堅調に推移したものの、欧州債務問題、新興国の成長減速や急激な株安により懸念を残す形で終えました。

一方の実体経済は、実質所得の下げ止まりや訪日客消費等の要因により緩やかな回復の兆しが見られました。

当社が属する供養産業は、死亡者が増加傾向にあるにもかかわらず、霊園事業においては、埋葬の選択肢の多様化に伴い、比較的高価格となる墓地墓石の購入者は年々減少傾向にあります。この流れに対応すべく当社は、供養の全てを網羅し価格においてもご満足いただける室内陵墓事業への拡充を図っております。

葬祭事業においては、葬儀の小規模・地味化傾向が顕著となる中、インターネット媒体を中心に業者間の価格競争は激化し、施行単価が一層下落するという厳しい環境下にあるものの、生花祭壇葬「愛彩花(あいさいか)」と共に、家族葬を中心としたラステル葬が消費者から支持を受け、売上は堅調に推移しました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高7億9千3百万円(前年同四半期比12.7%増)、営業損失1千5百万円(前年同四半期営業損失5千1百万円)、経常損失3千3百万円(前年同四半期経常損失6千6百万円)、四半期純損失3千万円(前年同四半期純損失4千6百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 霊園事業

屋外墓地につきましては、埋葬の選択肢の多様化に伴い比較的高価格となる墓地墓石の買い控え並びに小規模区画傾向が続く消費動向に対応すべく、広告及び販売戦略の見直しを適宜行っております。売上高は2億4千2百万円(前年同四半期比13.5%増)となりました。

② 室内陵墓事業

第五号「两国陵苑(東京都墨田区)」は、消費者の価値観を超える重厚な施設と好立地が反響を呼んでおり、当初の計画を上回る販売実績をあげております。売上高は1億6千3百万円(前年同四半期比12.0%増)となりました。

③ 葬祭事業

死亡者数が年々増加傾向にある中、当社は終活セミナー等を開催し、潜在顧客を施行に繋げる取り組みを積極的に行っております。会員制の生花祭壇葬「愛彩花」並びに、家族葬・直葬施設を併設した独自のブランド「ラステル(ラストホテル)」は、「小規模でありながらも心のこもった葬儀」を望む現代の消費者から好評を得ており、施行件数は双方とも堅調に推移しました。売上高は3億8千8百万円(前年同四半期比12.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における資産合計は、114億6千7百万円となり、前事業年度末に比べ2億3千7百万円減少しました。

流動資産は、前事業年度末に比べ、2億2千5百万円減少し、34億8千4百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金1億6千7百万円及び売掛金8千3百万円の減少によるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べ、1千2百万円減少し、79億8千2百万円となりました。その主な要因は、霊園開発協力金1億2千4百万円の増加、差入保証金1億6千1百万円の減少によるものです。

流動負債は、前事業年度末に比べ、1千1百万円減少し、33億1千4百万円となりました。その主な要因は、短期借入金1億3千2百万円の増加、1年内償還予定の社債9千1百万円及び1年内返済予定の長期借入金6千6百万円の減少によるものです。

固定負債は、前事業年度末に比べ、1億7百万円減少し、45億3千3百万円となりました。その主な要因は、社債1億円の減少によるものです。

純資産は、前事業年度末に比べ、1億1千9百万円減少し、36億1千9百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金1億2千3百万円の減少によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点、平成27年5月8日の「平成27年3月期 決算短信(非連結)」で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,599,320	2,432,135
完成工事未収入金	39,625	25,420
売掛金	218,612	134,657
永代使用权	311,423	294,320
未成工事支出金	288,235	291,875
原材料及び貯蔵品	132,486	161,558
その他	120,495	144,965
貸倒引当金	△41	△31
流動資産合計	3,710,157	3,484,902
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,025,100	1,008,832
土地	1,535,523	1,535,523
その他(純額)	20,786	18,727
有形固定資産合計	2,581,410	2,563,083
無形固定資産	196,635	223,987
投資その他の資産		
長期貸付金	140,234	139,616
差入保証金	1,383,044	1,221,685
霊園開発協力金	2,183,269	2,307,558
その他	1,547,504	1,563,048
貸倒引当金	△37,299	△36,579
投資その他の資産合計	5,216,754	5,195,330
固定資産合計	7,994,799	7,982,401
資産合計	11,704,957	11,467,304
負債の部		
流動負債		
買掛金	76,497	76,233
短期借入金	326,622	459,424
1年内返済予定の長期借入金	1,709,110	1,642,561
1年内償還予定の社債	613,800	522,800
未払法人税等	4,489	4,818
賞与引当金	31,900	14,800
その他	563,322	594,045
流動負債合計	3,325,741	3,314,683
固定負債		
社債	1,055,800	955,400
長期借入金	3,101,003	3,089,703
退職給付引当金	285,701	286,314
役員退職慰労引当金	174,109	178,442
その他	23,832	23,548
固定負債合計	4,640,446	4,533,409
負債合計	7,966,188	7,848,092

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,306,842	1,306,842
資本剰余金	958,082	958,082
利益剰余金	1,683,650	1,559,772
自己株式	△227,809	△227,809
株主資本合計	3,720,766	3,596,888
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	42,382	48,228
繰延ヘッジ損益	△24,379	△25,904
評価・換算差額等合計	18,002	22,323
純資産合計	3,738,769	3,619,211
負債純資産合計	11,704,957	11,467,304

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	704,025	793,782
売上原価	241,119	269,711
売上総利益	462,906	524,070
販売費及び一般管理費	514,184	539,786
営業損失(△)	△51,278	△15,716
営業外収益		
受取利息	1,026	779
受取配当金	7,444	5,644
その他	8,683	8,395
営業外収益合計	17,154	14,818
営業外費用		
支払利息	29,476	31,939
社債発行費	656	—
その他	2,217	1,020
営業外費用合計	32,350	32,960
経常損失(△)	△66,473	△33,857
特別損失		
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	—	0
税引前四半期純損失(△)	△66,473	△33,857
法人税、住民税及び事業税	2,195	2,066
法人税等調整額	△22,547	△5,775
法人税等合計	△20,351	△3,708
四半期純損失(△)	△46,122	△30,149

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。